



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Weekly Report

RI 会長テーマ Reach Within to Embrace Humanity

クラブ会長テーマ 己を理してクラブと社会に貢献しよう

第 2083 回例会

観梅会

東京国立白うめ RC と合同

日 時 : 平成 24 年 2 月 29 日

会 場 : 例会場

司 会 : SAA

岡本(正)委員長

開会点鐘

関 会長

斉 唱 : ロータリーソング「我等の生業」

お客様の紹介

関 会長

会長報告

関 会長

幹事報告

木島幹事

ニコニコBOX

小澤(崇)親睦活動委員長

●**関会長** 両クラブの親睦、SAA さん、準備ご苦労様でした。立派な観梅会が出来ました。有難うございました。白うめ R.C の皆様ごゆっくりして行って下さい。

●**木島幹事** 観梅合同例会おめでとうございます。大雪の下での観梅も風雅でいいものです。室内例会とした親睦さんの先見に感謝です。

●**小澤孝造会員** 観梅会、親睦委員会の皆様、御苦労様です。

●**津戸会員** せっかくの観梅会、未だ花は 1 分咲きです。代わりに雪見酒で我慢して下さい。

●**三田賢司会員** 他の会議と重なりまして楽しみにしていた観梅会は欠席いたします。投句しておきましたのでよろしくお願い致します。

●**松本会員** 孫むすめが都立高校に合格しましたのでニコニコ致します。

●**秋廣会員** 久しぶりの銀世界、天満宮の森の良さを改めて感じました。降る雪や「昭和も遠くになりなけり」(読み人知らず)

●**岡本貞雄会員・喜連紘子会員・佐伯会員** 2 月 29 日、大雪の中の観梅会、記憶に残る一日になりそうです。ご準備下さった皆様に感謝します。

●**出席委員会(稲村会員・高世会員・山崎会員・本間会員)** 観梅会ならず雪見会と思いがけず 2 つの楽しみをいただきました。白うめロータリーの皆様方と美味しいお酒をいただきます。

●**SAA 委員会(岡本正伸会員・井上会員・小川会員・石塚会員・近藤会員)** 本日は観梅のお酒が、雪見酒となりましたが、どちらでも美味しいお酒が飲めれば満足なのがロータリアン。それにしても、屋内観梅会を設定した小澤崇文親睦活動委員長「さすが先見の明あり？」感服しました。白うめロータリークラブとの久々の合同例会、スムーズな進行を SAA 一同心がけますので、皆さん最後まで楽しみましょう。親睦さん御苦労様です。

●**親睦活動委員会(小澤崇文会員・北島会員)** 本日は雪の中の観梅会多数のご参集いただき誠にありがとうございます。雪中梅もまた風情と考えていただけたらと思います。

ニコニコ BOX 合計 38,000 円 累計 957,000 円

出席報告

稲村出席委員長

2 月 29 日 在籍 48 名中 出席 36 名

前々回 (2 月 15 日) の 出席率 100%

閉会点鐘

東京国立白うめ RC 野村会長



R. I. 第 2750 地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

会 長 : 関 重 寿

幹 事 : 木 島 常 明

例 会 日 : 毎 週 水 曜 日 例 会 場 : 谷 保 天 満 宮 社 務 所 2 階 東 京 都 国 立 市 谷 保 5209 TEL042-576-5123

事 務 所 : 東 京 都 国 立 市 中 1-9-36 KK ビ ル 4F TEL : 042-575-0770 FAX : 042-572-8666

E - m a i l : kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L : http://kunitachi-rc.com/

会 報 委 員 : 遠 藤 直 孝 山 口 康 雄 岡 本 貞 雄 辻 伸 敏

観梅会



▲例会場で開催された白うめRCとの合同観梅会



▲雪の谷保天満宮



▲50 近くの投句があった



関会長賞 宗村勝三会員

閑日に
咲いた白雪
谷保の園
友集い
笑顔がそろう
谷保の梅



野村会長賞 三田賢司会員

待ちわびて
一輪咲きし
今朝の梅



木島幹事賞 板倉醇幸会員

白雪に
赤い唇
梅の花



原田幹事賞 近藤佳子会員

復興へ
ほほえみかえす
梅の花

前日の天気予報のとおり 29 日 (水) は雪になり、正午近くには 15 cm ぐらい積もった。重い雪で、時折高い木々から落下して傘を直撃する。観梅会としては最悪の天候になったが、谷保天満宮の雪景色は息をのむように美しい。

恒例の白うめRCとの合同観梅会は定刻の 12 時 30 分に開会した。今年度は当クラブが当番で、計画では 11 時 30 分に梅林に集合して俳句を詠み、その後に参加殿の会場で例会を開くということだったが、雪のために直接例会場に集合した。

雪のために交通手段が乱れ、そのためか「ドタキャン」が目立った。当クラブも数名いたが、白うめクラブでは 16 名の出席登録の内、7 名が欠席したのには驚いた。北村パスト会長は「せっかくの交流のチャンスを生かせずに残念です」と、懇親会の開会の挨拶でこのことに触れられた。何よりも用意した料理が 10 個も残ってしまったことに心が痛む。

合同例会に続き、板倉会長エレクトの音頭で乾杯をして懇親会を開会した。そして、宴もたけなわというところで俳句の授賞式が始まった。選句は事前に会員

が投票 (短冊にシールを貼る) し、その中から高点句に両クラブの会長賞、幹事賞が与えられる趣向である。その 4 賞のすべてを当クラブの会員が独占したことは、近年にない快挙であり誇らしい限りである。

ところで、観梅会は数年前まで天満宮の梅林で開催していた。舞台を設営し、ある年はそこでお琴の演奏もあった。春の日差しの下で、長老会員は短冊を手に一句をひねっている光景はのどかなものだった。料理は弁当の時もあったが、おでんやかけそば、ある年には山菜の天ぷらもあって、心と体を暖めてくれた。

しかし、近年はすっかり例会場での観梅会が定着してしまった。天候のこと、予算のこと、また担当する委員会のメンバーが減少する中ではやむを得ないことで、今の両クラブの実情からして、この方法が最良なものだと私は思う。ただ、先述のように観梅会が「思い出」として会員の記憶に残るかどういかは疑問である。しかし今年は「雪の観梅会」として、しっかりと私の記憶に残すことができたことはありがたかった。

親睦活動委員の皆さまのご苦勞に感謝いたします。

文・会報委員・岡本貞雄